

令和元年交通事故統計

交通安全は 家庭から



旭川市交通安全運動推進委員会

はじめに

市民の皆様や、交通安全指導員をはじめ交通事故防止に関わる関係機関・団体の皆様には、平素から交通事故防止活動に深い御理解と、御尽力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、令和元年中の旭川市内における交通事故発生状況であります

発生件数	653	件	(前年比	-75	件)
死者数	10	人	(前年比	+3	人)
傷者数	761	人	(前年比	-95	人)

で、発生件数、傷者数については大幅に減少を図ることができました。

これはひとえに、交通事故防止に携わる関係機関・団体・市民の皆様方の献身的な努力の結果であり心より感謝申し上げます。

しかしながら、交通事故死者数につきましては、前年対比3人増の10人で、その内7人が高齢者(全て75歳以上)で、まさに交通弱者が亡くなる事故が相次いで発生、今後も高齢者人口の増加に伴い同種事故の発生が懸念されるどころであります。

旭川市内の交通事故発生実態をみますと、死傷事故の約6割が交差点及びその付近において発生しており、交通ルール遵守が交通事故抑止を図る上において極めて重要であります。

当交通安全運動推進委員会といたしましては、関係各位とより一層連携を強化し、高齢者に対する参加・体験・実践型の交通安全教育や、交差点におけるパトライト作戦など「見せる警戒活動」の強化を図ると共に、交通安全教室などの機会を捉え交通事故防止気運の醸成に努めるとともに、交通ルールの遵守や思いやりのあるマナーの実践が主体的に行われるよう、啓蒙・啓発活動を推進して参りたいと考えております。

本資料は、北海道警察旭川方面本部及び旭川中央警察署・旭川東警察署や上川総合振興局の御協力をいただき、関係資料を基に令和元年中に旭川市内で発生した交通事故の状況を分析しまとめたものです。交通事故防止活動の推進に際し、参考にさせていただければ幸いと存じます。

令和2年3月

旭川市交通安全運動推進委員会
会長 西川将人

目次

I 交通事故の概要【P 3】

- 1 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況【P 3】
 - (1) 旭川市
 - (2) 全道
 - (3) 全国
- 2 旭川市における交通事故発生状況【P 4～5】
 - (1) 月別
 - (2) 曜日別
 - (3) 時間帯別
 - (4) 路線別

II 交通事故の分析【P 6】

- 1 類型別交通事故発生状況【P 6】
- 2 道路形状別交通事故発生状況【P 7】
- 3 信号機有無別交通事故発生状況【P 7】
- 4 シートベルト・ヘルメット着用状況【P 8】
- 5 年齢層別・状態別死傷者数【P 8～10】
 - (1) 全年齢層
 - (2) こどもの状況
 - (3) 高齢者の状況
 - (4) 若年者の状況
- 6 第一当事者の交通事故発生状況【P 11～13】
 - (1) 状態別
 - (2) 事故原因別
 - (3) 年齢層別
 - (4) 通行目的別
 - (5) 事故車種の免許経過年数別
- 7 歩行者の交通事故発生状況【P 14～15】
 - (1) 年齢層別発生状況
 - (2) 歩行者の過失状況
- 8 自転車の交通事故発生状況【P 15～16】
 - (1) 年齢層別発生状況
 - (2) 自転車の過失状況
- 9 旭川市の交通死亡事故発生状況【P 17～18】
 - (1) 月別
 - (2) 年齢層別
 - (3) 路線別
 - (4) 類型別
 - (5) 道路形状別
 - (6) 曜日別
 - (7) 時間帯別
 - (8) 違反別
 - (9) 地区別
 - (10) 平成30年交通死亡事故発生状況一覧表【P 19～21】

III 過去10年間の状況【P22～24】

- 1 月別交通事故発生状況【P22】
- 2 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況【P24】
- 3 都道府県別交通事故死者数のワースト順位【P24】

IV 旭川市の交通事故発生件数・死者数・傷者数一覧【P 25】

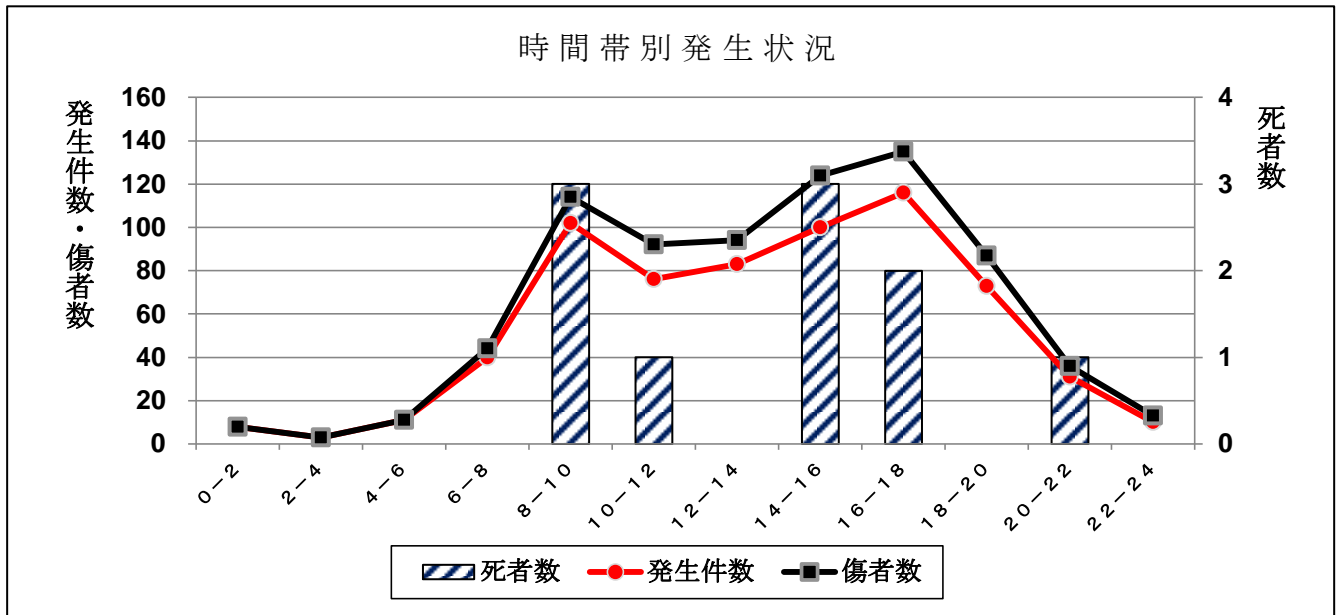
V 交通死亡事故ゼロ達成日数【P 26】

注 数字は単位未満で四捨五入しているため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や、四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もあります。

(3) 時間帯別交通事故発生状況

	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
発生件数	8	3	11	40	102	76	83	100	116	73	31	10	653
死者数					3	1		3	2		1		10
傷者数	8	3	11	44	114	92	94	124	135	87	36	13	761

* 発生時間帯については、午前は8～10時、午後は16時～18時と通勤時間帯と夕暮れ時から夜間にかけての発生が多い。

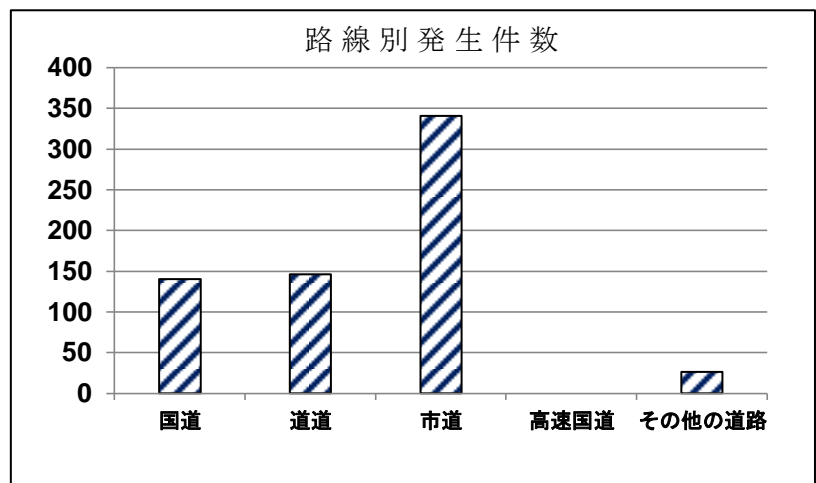


(4) 路線別交通事故発生状況

	国道	道道	市道	高速	指定自専道	他自専道	その他道路	合計
発生件数	140	146	341				26	653
死者数	4	5	1					10
傷者数	171	162	399				29	761

* 発生の約半数（全体の52.2%）が市道で、死者は10人中5人（約50.0%）が道道である。

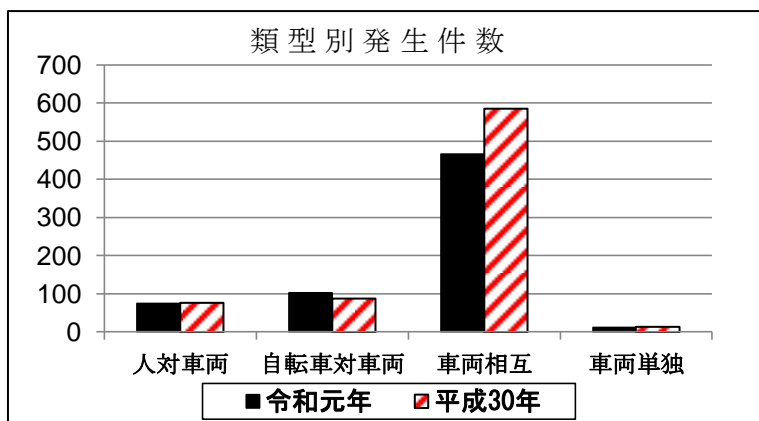
ベルトした
うしろの席も
もうしたよ



II 交通事故の分析

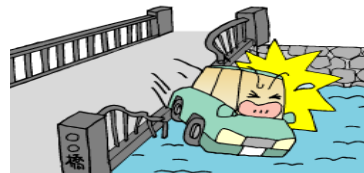
1 類型別交通事故発生状況

		令和元年			平成30年			
		発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数	
人対車両	対面通行中	1		1	2		2	
	背面通行中	2	1	1	2		2	
	横断中	横断歩道	27		27	15		16
		横断歩道付近	2		2	4	1	4
		歩道橋付近						
		その他	20	2	18	20	3	17
	計	49	2	47	39	4	37	
	路上遊戯中	1		1	1		1	
	路上作業中	2		2	2		2	
	路上停止中				3		3	
	その他	19	1	18	26		29	
小計	74	4	70	75	4	76		
自転車対車両		102	1	101	119	1	118	
車両相互	正面衝突	19	2	21	27	1	41	
	追突	進行中	12		12	18		22
		その他	165		209	169		204
	出会い頭	164	2	208	185		241	
	追い越し追い抜き時	3		3	18		23	
	すれ違い時	8		10	9		10	
	左折時	9		10	7		7	
	右折	右折直進	41	1	54	30		35
		その他	7		7	10		11
	その他	38		43	52		57	
小計	466	5	577	525	1	651		
車両単独	工作物衝突	電柱	1		1	2		2
		標識						
		防護柵等						
		その他	2		2	4	1	6
	駐車車両衝突	3		4				
路外逸脱	1		1					
その他	4		5	3		3		
小計	11		13	9	1	11		
踏切								
合計		653	10	761	728	7	856	



発生件数の増減率

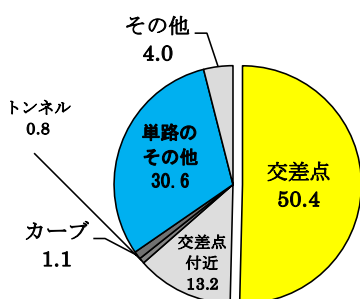
人対車両 ▼ 1.3%
 自転車対車両 ▼ 14.3%
 車両相互 ▼ 11.2%
 車両単独 22.2%



2 道路形状別交通事故発生状況

		発生件数		構成比%		死者数		構成比%		傷者数		構成比%		
		R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	
市街地	交差点	交差点	304	353	46.6	48.5	3	4	30.0	57.1	351	411	46.1	48.0
		交差点付近	81	99	12.4	13.6	2	1	20.0	14.3	93	116	12.2	13.6
		計	385	452	59.0	62.1	5	5	50.0	71.4	444	527	58.3	61.6
	単路	トンネル	3		0.5						4		0.5	
		カーブ	5	4	0.8	0.5					6	4	0.8	0.5
		その他	186	187	28.5	25.7					218	227	28.6	26.5
	その他	24	32	3.7	4.4					27	34	3.5	4.0	
小計	603	675	92.3	92.7	5	5	50.0	71.4	699	792	91.9	92.5		
非市街地	交差点	交差点	25	23	3.8	3.2	2		20.0		37	24	4.9	2.8
		交差点付近	5	7	0.8	1.0					6	7	0.8	0.8
		計	30	30	4.6	4.1	2		20.0		43	31	5.7	3.6
	単路	トンネル	2	1	0.3	0.1					2	1	0.3	0.1
		カーブ	2	1	0.3	0.1	1		10.0		2	1	0.3	0.1
		その他	14	19	2.1	2.6	2	2	20.0	28.6	13	29	1.7	3.4
	その他	2	2	0.3	0.3					2	2	0.3	0.2	
小計	50	53	7.7	7.3	5	2	50.0	28.6	62	64	8.1	7.5		
合計	653	728	100.0	100.0	10	7	100.0	100.0	761	856	100.0	100.0		

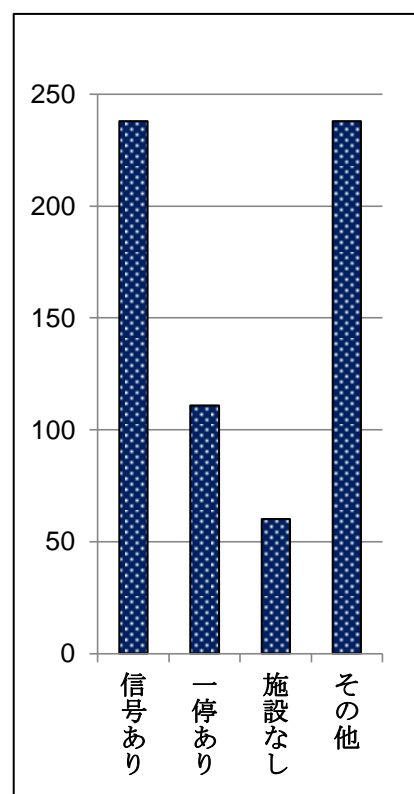
* 市街地・非市街地ともに交差点及びその付近での発生が多く、全体の63.6%を占めている。



手をあげて
小さな君も
信号機

3 信号機有無別発生状況

		発生件数		死者数		傷者数		
		R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	
市街地	交差点	信号あり	158	182	1	1	182	212
		一停あり	95	105			113	125
		施設なし	50	66	2	3	55	74
	交差点付近	信号あり	66	75	1		79	90
		一停あり		8				9
		施設なし	10	16	1	1	9	17
その他	218	223			255	265		
小計	597	675	5	5	693	792		
非市街地	交差点	信号あり	10	8			17	9
		一停あり	15	11	2		20	11
		施設なし		4				4
	交差点付近	信号あり	4	5			5	5
		一停あり	1				1	
		施設なし		2				2
その他	26	23	3	2	25	33		
小計	56	53	5	2	68	64		
合計	653	728	10	7	761	856		



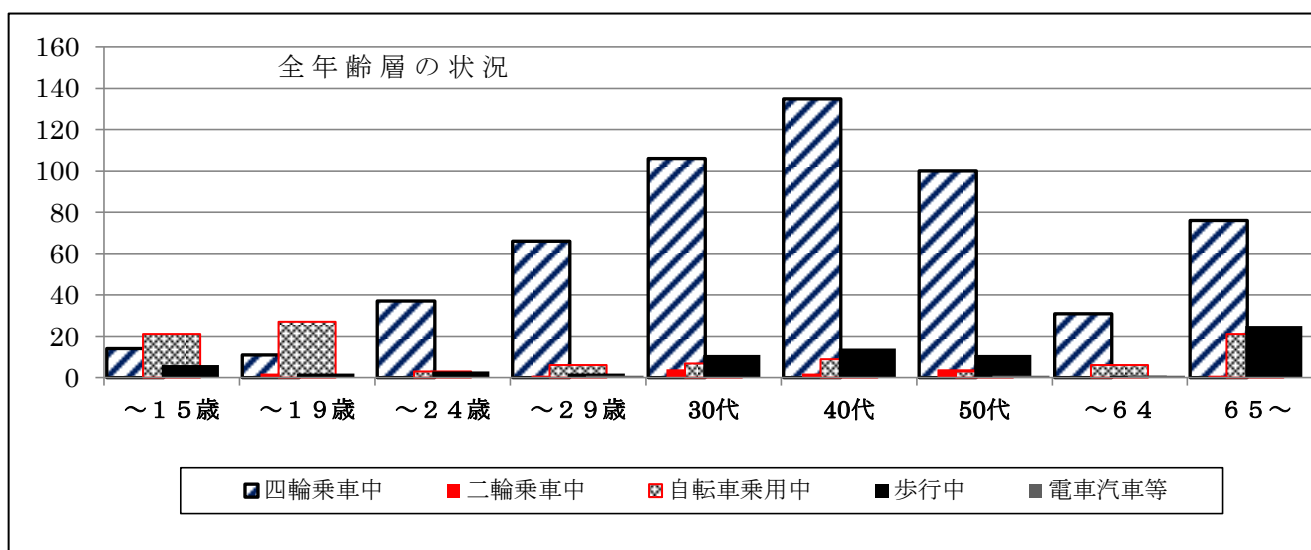
4 シートベルト・ヘルメット着用状況

		死者数		重傷者数		軽傷者数			
		R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年		
シートベルト	着用	2点3点式		3	1	18	22	520	577
	着用	チャイルドシート						3	9
		6歳未満							8
	非着用	適用除外者							1
		その他			1		3	32	40
	着用不明								
合計		3	2	18	25	555	627		
ヘルメット	着用	離脱							
	着用	離脱なし		2		5	4	9	10
		離脱不明							
	非着用		1	1	11	22	89	93	
	着用不明								
合計		3	1	16	26	98	103		

5 年齢層別状態別死傷者数

(1) 全年齢層の状況

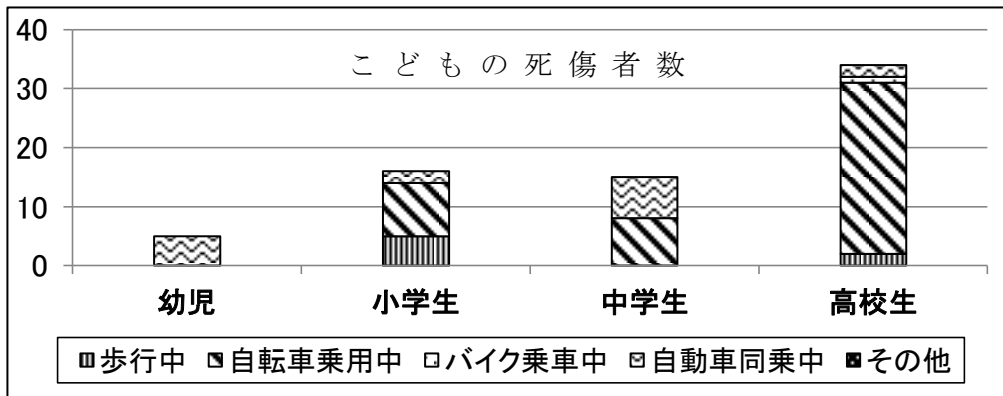
	令和元年						平成30年					
	四輪乗車中	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車自動車等	計	四輪乗車中	二輪乗車中	自転車乗用中	歩行中	電車自動車等	計
～15	14		21	6		41	23		19	7		49
～19	11	2	27	2		42	18		25	4		47
～24	37		3	3		43	23	1	13	6		43
～29	66	1	6	2	1	76	77		3	2		82
30代	106	4	7	11		128	174	3	8	7		192
40代	135	2	9	14		160	151	5	10	13		179
50代	100	4	3	11	1	119	75	1	6	10		92
～64	31		6	1	1	39	33	1	6	7		47
65～	76	1	21	25		123	80		29	23		132
合計	576	14	103	75	3	771	654	11	119	79		863



(2) こどもの状況

		幼児		小学生		中学生		高校生		計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
令和元年	歩行中				5				2		7
	自転車乗用中				9		8		29		46
	バイク乗車中								1		1
	自動車同乗中		5		2		7		2		16
	その他										
	計		5		16		15		34		70
平成30年	歩行中		3		4				1		8
	自転車乗用中				5		9		23		37
	バイク乗車中										
	自動車同乗中		11		8		2		8		29
	その他										
	計		14		17		11		32		74

* 傷者の半数以上 (65.7%) が自転車乗用中である。



交差点
命のきけんが
かくれんぼ

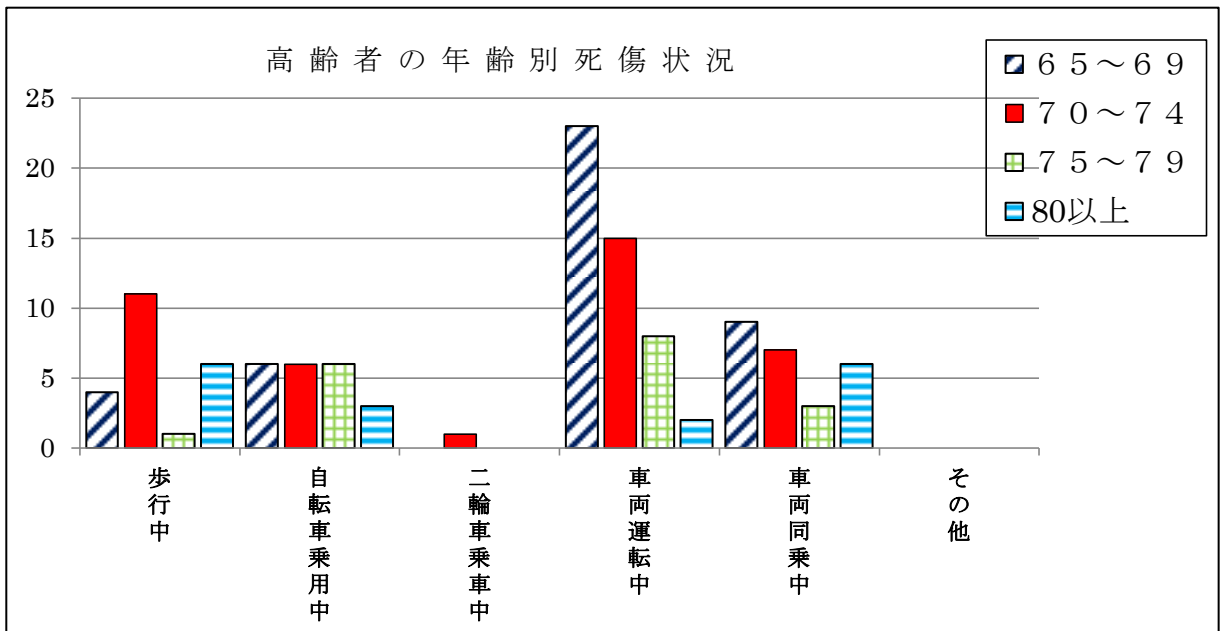
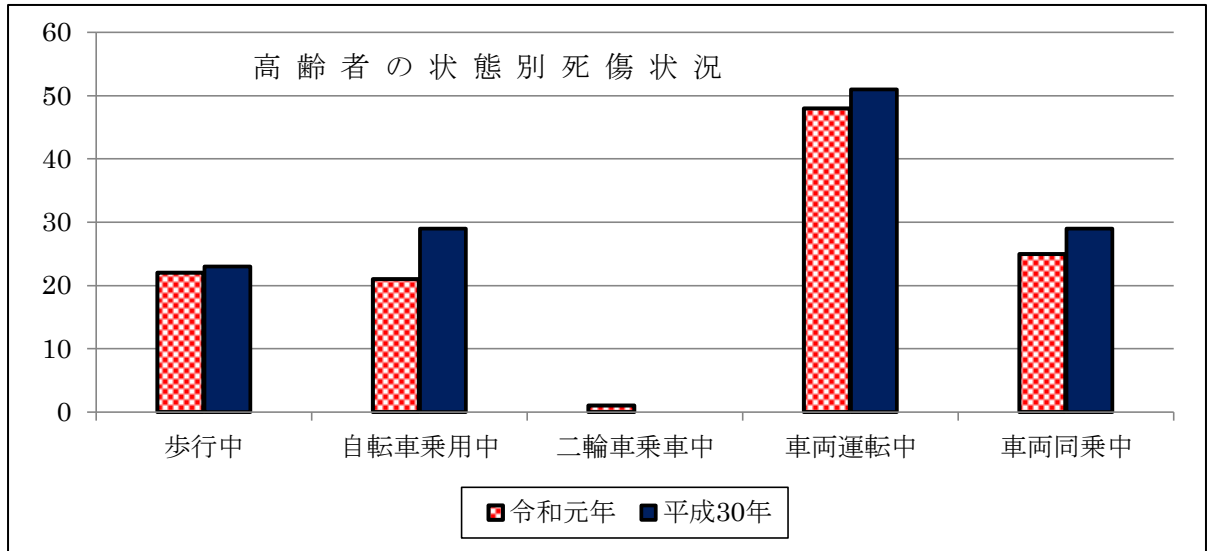


(3) 高齢者の状況

* 交通事故死者数 10 名中, 7 名 (70.0%) が高齢者で全て 75 歳以上である。

* 傷者は 10 人減少したが, 死者は 2 名増加した。

		65~69 歳		70~74 歳		75~79 歳		80 歳以上		計		死傷者 構成率(%)
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	
令和元年	歩行中		4	1	1	1	3	6	3	2	20.2	
	自転車乗用中		6	6	1	6		3	1	2	17.7	
	原付・2 輪乗車中			1						1	0.8	
	原付・2 輪同乗中											
	車両運転中		2	3	1	5	1	8	1	2	40.3	
	車両同乗中		9		7		3	1	6	1	2	21.0
	その他											
計		4	2	4	0	2	1	8	5	1	7	100.0
平成30年	歩行中		8		3	2	1	2	7	4	1	17.4
	自転車乗用中		1	0	6		6		7		2	22.0
	原付・2 輪乗車中											
	原付・2 輪同乗中											
	車両運転中		2	3	1	1	8		8	1	5	38.6
	車両同乗中		7		1	3	3		6		2	22.0
	その他											
計		4	8	1	4	0	2	1	8	2	5	100.0



(4) 若年者の状況 (16歳～24歳)

	令和元年		平成30年	
	死者数	傷者数	死者数	傷者数
乗用車運転中		27		22
乗用車同乗中		19		13
貨物車運転中		2		2
貨物車同乗中			1	3
自動二輪車運転中		2		1
自動二輪車同乗中				
原付車運転中				
原付車同乗中				
自転車乗用中		30		38
歩行中		5		10
その他				
計		85	1	89



* 若年者の死傷者数は年々減少傾向にあり、本年も前年比で5名(約6%)減少した。

* 死者は無かった。

H28年	112名
H29年	107名
H30年	90名
R元年	85名

6 第一当事者の交通事故発生状況

(1) 状態別

	令和元年		平成30年	
	発生件数	構成率%	発生件数	構成率%
自家用自動車	573	87.7	653	89.7
運送事業用自動車	58	8.9	50	6.9
二輪車	4	0.6		
自転車・歩行者	7	1.1	9	1.2
特殊車	3	0.5	1	0.1
その他(不明)	8	1.2	15	2.1
計	653	100.0	728	100.0

もういひかい
残ったお酒が
まあだだよ

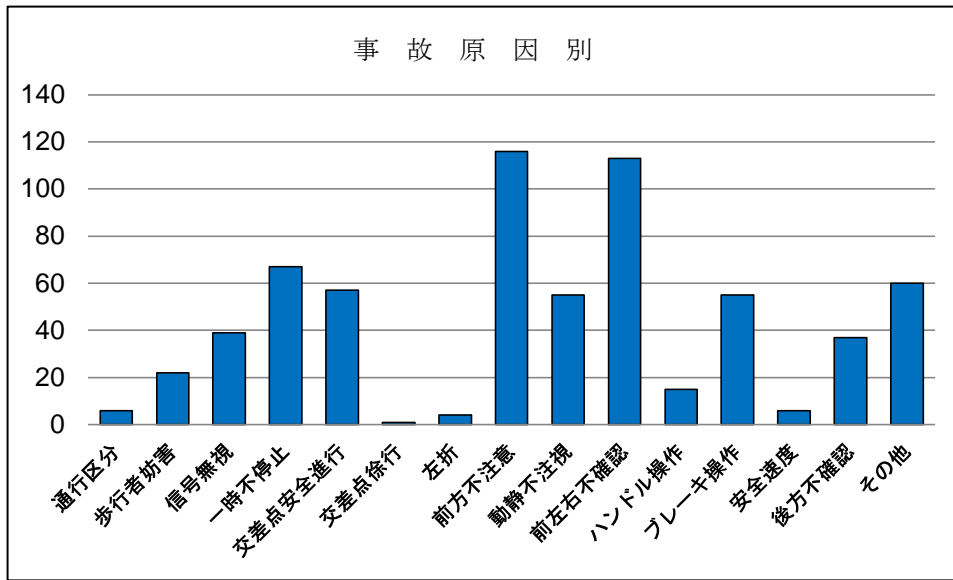


* 例年同様、自家用自動車による事故が大半を占めている。

(2) 事故原因別

	発生件数		構成比%		死者数		構成比%		傷者数		構成比%		
	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	
酒酔い運転		2		0.3						3		0.4	
追越し運転		2		0.3						4		0.5	
通行区分違反	6	7	0.9	1.0		1		14.3	6	6	0.8	0.7	
歩行者妨害	22	10	3.4	1.4					22	10	2.9	1.2	
最高速度違反		1		0.1		1		14.3		2		0.2	
過労運転													
信号無視	39	45	6.0	6.2					50	63	6.6	7.4	
一時不停止	67	57	10.3	7.8					80	69	10.5	8.1	
車間距離													
踏切													
交差点安全通行	57	55	8.7	7.6	1	4	10.0	57.1	72	58	9.5	6.8	
交差点徐行	1	1	0.2	0.1					3	1	0.4	0.1	
右折		3		0.4						3		0.4	
左折	4	1	0.6	0.1					5	1	0.7	0.1	
整備不良													
安全運転義務違反	前方不注意	116	112	17.8	15.4	4	1	40.0	14.3	144	136	18.9	15.9
	動静不注視	55	59	8.4	8.1					65	65	8.5	7.6
	前左右不確認	113	166	17.3	22.8					123	189	16.2	22.1
	ハンドル操作	15	29	2.3	4.0					16	38	2.1	4.4
	ブレーキ操作	55	77	8.4	10.6	1		10.0		57	90	7.5	10.5
	安全速度	6	2	0.9	0.3					7	3	0.9	0.4
	後方不確認	37	50	5.7	6.9	1		10.0		40	56	5.3	6.5
	その他	8	20	1.2	2.7					10	25	1.3	2.9
小計	405	515	62.0	70.7	6	1	60.0	14.3	462	602	60.7	70.3	
その他の違反	43	14	6.6	1.9	3		30.0		51	19	6.7	2.2	
不明	8	15	1.2	2.1					9	15	1.2	1.8	
歩行者の違反	1		0.2						1		0.1		
合計	653	728	100.0	100.0	10	7	100.0	100.0	761	856	100.0	100.0	
酒気帯 (内数)	0.25未満			0.3									
	0.25以上	4	10	0.6	1.4					5	15	0.7	1.8
無免許 (内数)	5	3	0.8	0.4		1		14.3	5	4	0.7	0.5	

* 「うっかり、ぼんやり型」の安全運転義務違反が全体の約62%で最も多く、次いで一時不停止による事故が多い。



(3) 年齢層別

		発生件数		構成比 %		死者数		構成比 %		傷者数		構成比 %	
		R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年
ドライバー	15歳以下		1		0.1						1		0.1
	16～19	23	16	3.5	2.2		1		14.3	32	21	4.2	2.5
	20～24	54	61	8.3	8.4	1	1	10.0	14.3	66	68	8.7	7.9
	25～29	46	52	7.0	7.1					56	61	7.4	7.1
	30歳代	74	95	11.3	13.0	1	1	10.0	14.3	82	126	10.8	14.7
	40歳代	108	111	16.5	15.2	1		10.0		128	126	16.8	14.7
	50歳代	90	90	13.8	12.4	5	1	50.0	14.3	99	103	13.0	12.0
	60～64	45	65	6.9	8.9					53	85	7.0	9.9
	65～69	65	67	10.0	9.2					79	75	10.4	8.8
	70～74	66	65	10.1	8.9		2		28.6	80	73	10.5	8.5
	75～79	47	47	7.2	6.5	1	1	10.0	14.3	48	55	6.3	6.4
80歳以上	20	34	3.1	4.7	1		10.0		22	38	2.9	4.4	
小計	638	704	97.7	96.7	10	7	100.0	100.0	745	832	97.9	97.2	
その他	歩行者	1		0.2						1		0.1	
	自転車	6	9	0.9	1.2					6	9	0.8	1.1
	その他不明	8	15	1.2	2.1					9	15	1.2	1.8
合計	653	728	100.0	100.0	10	7	100.0	100.0	761	856	100.0	100.0	

* 発生件数では、30歳代、60歳代、80歳代で減少した。

* 死者数では、50歳代による事故が大幅に増加した。

ハイビーム

こまめに活用

事故防止

ロービーム (照射距離約 40m)

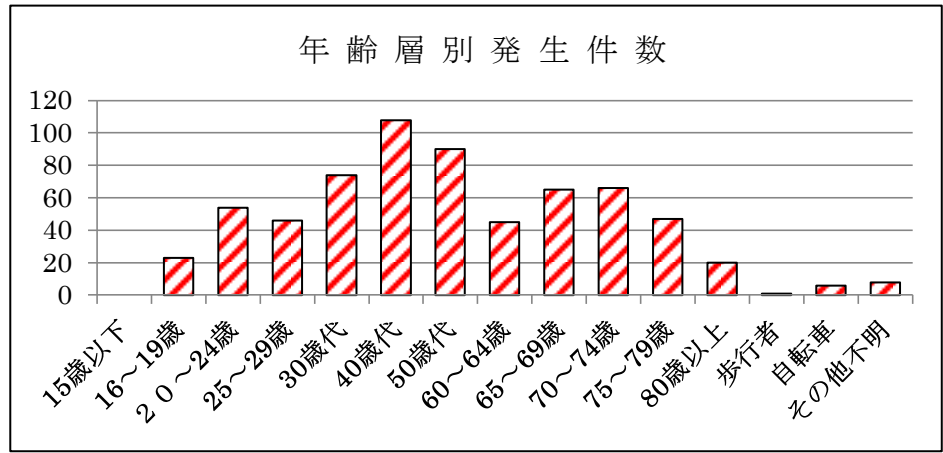
ハイビーム (照射距離約 100m)

ハイビームで
事故防止!

【H31年 全日本交通安全協会会長賞】

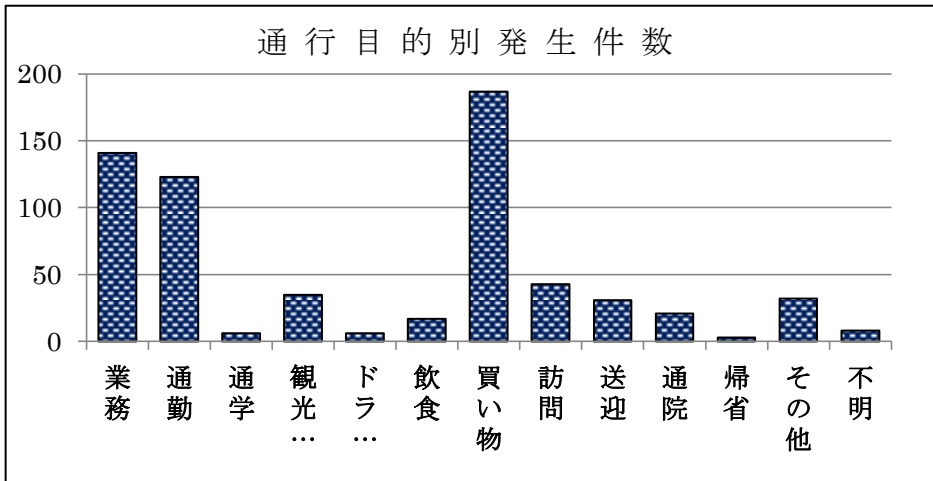


危ないよ
イヤホン スマホで
うわの空



(4) 通行目的別

	業務	通勤	通学	観光 娯楽	ドライ ブ	飲食	買物	訪問	送迎	通院	その他	不明	合計
発生	141	123	6	35	6	17	187	43	31	21	35	8	653
死者数	4	1		1				1	2		1		10
傷者数	161	144	8	42	11	24	224	48	29	22	39	9	761



しっかりと

止まってかくにん

横たん歩道

(5) 事故車種の免許経過年数別

		発生件数		構成比 %		死者数		傷者数	
		R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年
有効免許あり	1年未満	29	20	4.4	2.7		1	40	23
	1年以上2年未満	16	18	2.5	2.5	1		15	18
	2年以上3年未満	18	16	2.8	2.2			25	17
	3年以上4年未満	11	10	1.7	1.4			14	15
	4年以上5年未満	18	26	2.8	3.6	1		21	29
	5年以上10年未満	49	63	7.5	8.7			61	75
	10年以上	494	548	75.7	75.3	8	5	566	651
小計		635	701	97.2	96.3	10	6	742	828
無免許等		3	3	0.5	0.4		1	3	1
調査不能									
ドライバー以外	歩行者	1		0.2				1	
	自転車	6	9	0.9	1.2			6	9
	その他	8	15	1.2	2.1			9	15
計		653	728	100.0	100.0	10	7	761	856

* 10年以上の運転経験者による事故が約76%を占めている。

7 歩行者の交通事故発生状況

(1) 年齢層別発生状況

	死者数		傷者数		計		構成比 %		
	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	
20歳未満			8	11	8	11	10.7	13.9	
(内数)	幼児			3		3		3.8	
	小学生		5	4	5	4	6.7	5.1	
	中学生								
	高校生			2	1	2	1	2.7	1.3
20歳代			5	8	5	8	6.7	10.1	
30歳代			11	7	11	7	14.7	8.9	
40歳代			14	13	14	13	18.7	16.5	
50歳代	1		10	10	11	10	14.7	12.7	
60～64歳			1	7	1	7	1.3	8.9	
高齢者	65～69歳		4	8	4	8	5.3	10.1	
	70～74歳		11	3	11	3	14.7	3.8	
	75～79歳		2	1	1	3	1.3	3.8	
	80歳以上	3	2	6	7	9	9	12.0	11.4
	小計	3	4	22	19	25	23	33.3	29.1
計	4	4	71	75	75	79	100.0	100.0	



夕暮れの

一番星は

反射材

* 歩行者事故の死者数は、前年と同数であり、傷者数は僅かに減少した。

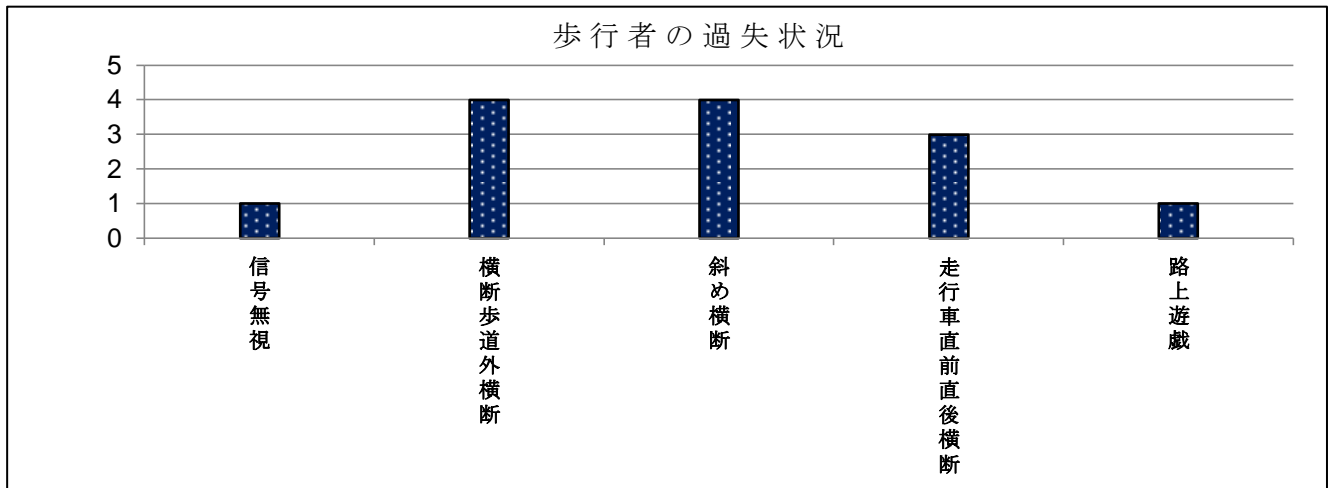
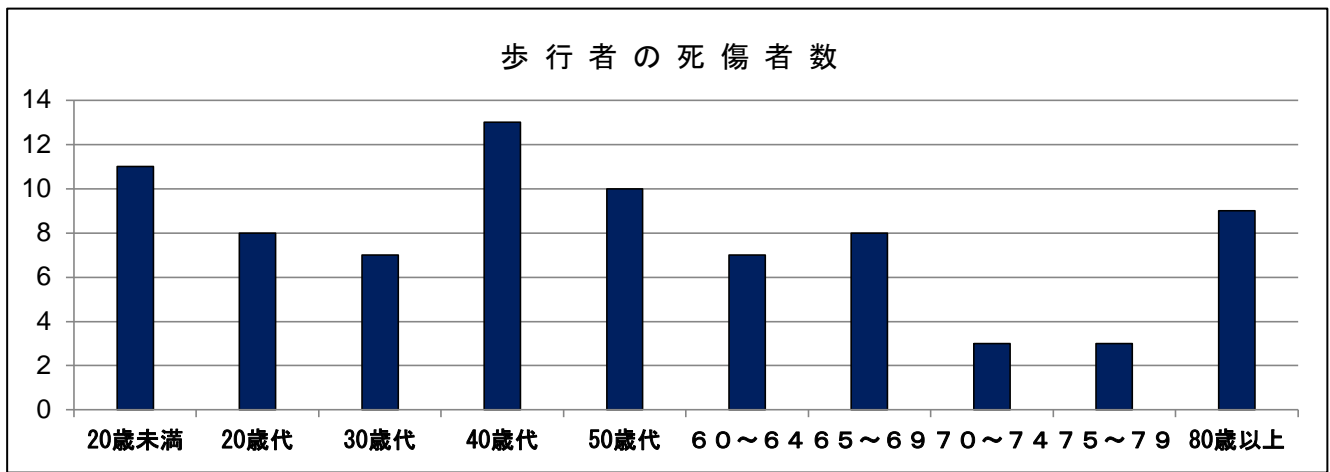
* 高齢者が占める死傷者の割合は33.3%となり、前年比で4.2%増加した。

(H27年42.9% H28年38.6% H29年28.6% H30年29.1% R元年33.3%)

(2) 歩行者の過失状況

	中学生以下		高齢者		その他		計		構成比 %	
	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年
信号無視					1	1	1	1	1.3	1.3
左側通行										
車道通行						1		1		1.3
行列等の通行違反										
横断歩道外の横断			4	6		1	4	7	5.3	8.9
斜め横断			2		2	2	4	2	5.3	2.5
駐停車直前直後の横断	2				1		3		4.0	
走行車直前直後の横断				1		1		2		2.5
禁止場所の横断				1				1		1.3
幼児の一人歩き		1						1		1.3
酩酊徘徊ねそべり										
路上遊戯中	1	1					1	1	1.3	1.3
路上作業中										
飛び出し		1						1		1.3
その他の違反						2		2		2.5
過失なし	2	4	19	15	41	41	62	60	82.7	75.9
計	5	7	25	23	45	49	75	79	100.0	100.0

* 全体の約2割に歩行者側にも横断歩道外横断、斜め横断、駐停車直前直後の横断などの過失がある。



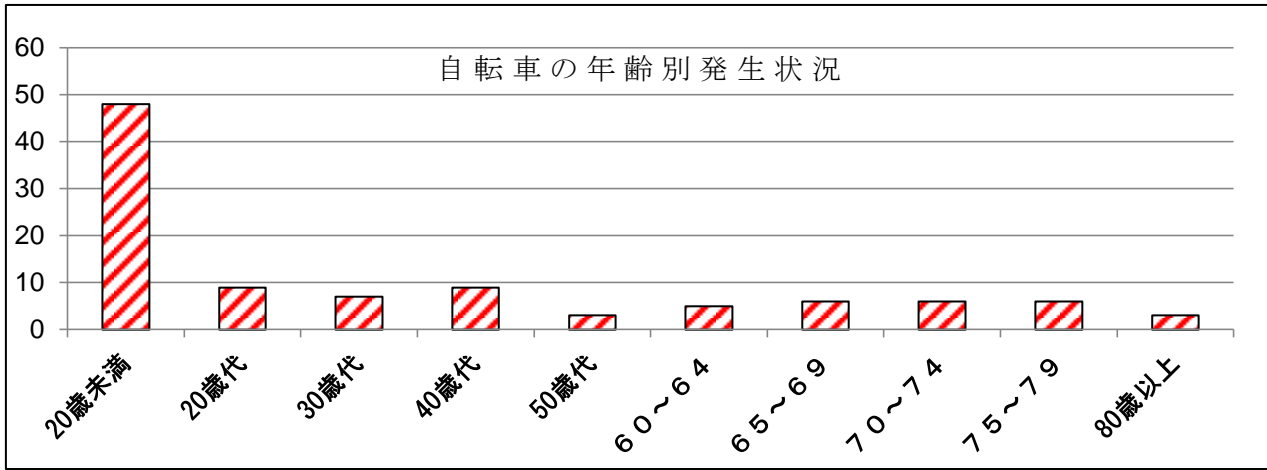
8 自転車の交通事故発生状況
(1) 年齢層別発生状況

	死者数		傷者数		計		構成比 %		
	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	
20歳未満			48	44	48	44	46.6	37.0	
(内数)	幼児								
	小学生		9	5	9	5	8.7	4.2	
	中学生		8	9	8	9	7.8	7.6	
	高校生		29	23	29	23	28.2	19.3	
20歳代			9	16	9	16	8.7	13.4	
30歳代			7	8	7	8	6.8	6.7	
40歳代			9	10	9	10	8.7	8.4	
50歳代			3	6	3	6	2.9	5.0	
60～64		1	5	5	5	6	4.9	5.0	
高齢者	65～69		6	10	6	10	5.8	8.4	
	70～74			6	6	6	5.8	5.0	
	75～79	1		6	6	7	6.8	5.0	
	80歳以上			3	7	3	7	2.9	5.9
	小計	1		21	29	22	29	21.4	24.4
計	1	1	102	118	103	119	100.0	100.0	



**子ども親も
自転車乗る時
ヘルメット**

* 傷者の約47%は20歳未満の若年者であり、特に高校生の事故が多い。
* 高齢者被害事故は前年比7人(24.1%)減少した。



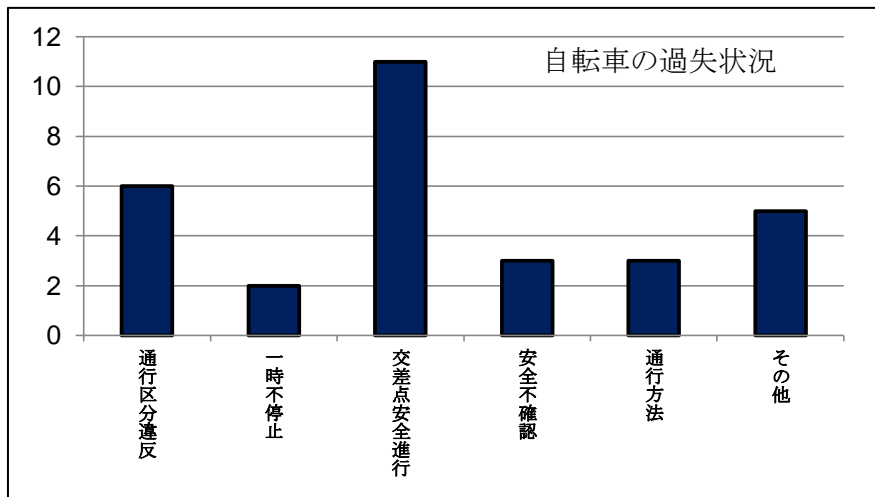
(2) 自転車 の 過 失 状 況

	中学生以下		高齢者		その他		計		構成比 %	
	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年	R元年	H30年
信号無視				1		3		4		3.4
通行禁止違反										
通行区分違反	1		1		4		6		5.8	
車両・通行帯違反										
横断・転回等違反										
通行妨害違反										
右折方法違反										
左折方法違反										
交差点安全進行義務違反	1	2	2	3	8	12	11	17	10.7	14.3
一時不停止	1	1		1	1	3	2	5	1.9	4.2
灯火違反										
安全不確認		1	1	1	2	6	3	8	2.9	6.7
乗車不適當										
通行方法違反	1				2		3		2.9	
その他	1		1	1	3	3	5	4	4.9	3.4
違反なし	12	10	17	22	44	49	73	81	70.9	68.1
計	17	14	22	29	64	76	103	119	100.0	100.0

* 「過失あり」が30件(29.1%)を占め、その中でも特に交差点安全進行義務違反が多い。



あっあぶない！
スマホに危険は
うつらない



9 旭川市の交通死亡事故発生状況

(1) 月別

(▼減少)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
令和元年			3	1					2	1	3		10
平成30年					2				1	2	1	1	7
増減			3	1	▼2				1	▼1	2	▼1	3

(2) 年齢層別

	幼児	小	中	高	15以下	16-19	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	計
令和元年							1	1	1	5		2	10
平成30年						1					1	5	7
増減						▼1	1	1	1	5	▼1	▼3	3

(3) 路線別

	国道12号	国道39号	国道40号	国道237号	他の国道	道道	市道	その他	計
令和元年	2	2				5	1		10
平成30年	3			1		1	2		7
増減	▼1	2		▼1		4	▼1		3

(4) 類型別

	歩行者 対 車両	自転車 対 車両	車両相互					車両 単 独	計
			正面衝突	追突	出会頭	その他	小計		
令和元年	4	1	2		2	1	5		10
平成30年	4	1	1				1	1	7
増減			1		2	1	4	▼1	3

(5) 道路形状別

	交差点	交差点付近	直線道路	トンネル	カーブ屈折	その他	計
令和元年	5	2			1	2	10
平成30年	4	1	2				7
増減	1	1	▼2		1	2	3

(6) 曜日別

	日	月	火	水	木	金	土	計
令和元年	2		1	4	1	1	1	10
平成30年	1	1		1	4			7
増減	1	▼1	1	3	▼3	1	1	3



見過ごすな 信じて挙げた 小さな手

(7) 時間帯別

	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	計
令和元年					3	1		3	2		1		10
平成30年			1	2						3	1		7
増減			▼1	▼2	3	1		3	2	▼3			3

(8) 違反別

違反項目	死者数		
	R元年	H30年	
酒酔い			
追越し			
通行区分		1	
歩行者妨害			
最高速度		1	
過労運転			
信号無視			
一時不停止			
車間距離			
踏切			
交差点安全通行	1	4	
交差点徐行			
右折			
左折			
整備不良			
安全運転義務違反	前方不注意	4	1
	動静不注意		
	前左右不確認		
	ハンドル操作		
	ブレーキ操作	1	
	安全速度		
	後方不注意	1	
	その他		
小計	6		
その他の違反	3		
不明			
自転車の通行方法			
歩行者の違反			
合計	10	7	

(9) 地区別

・旭川中央署区域			・旭川東署区域		
地区名	死者数		地区名	死者数	
	R元年	H30年		R元年	H30年
西		1	新旭川		1
中央			朝日		
大成	1		啓明		
近文東			旭神		
近文西			東光		1
川端			東光南		
旭星			豊岡		
旭星西			愛宕		1
北星			東豊中央		
春光西			新豊岡		
春光中央			東部東光		
春光東			千代田		
春光台			旭正		
鷹の巣福祉村			東旭川中央		
末広中央			日の出・倉沼		
末広	2		豊田		
末広東			桜岡		
東鷹栖中央			米飯・瑞穂		
東鷹栖東			神楽本町		
東鷹栖西			神楽宮前		
東鷹栖北			高野		
江丹別	1		神楽岡		
嵐山			神楽岡東		
神居中央			緑が丘		
神居東			西御料地		1
台場	2	1	緑が丘東	1	
神居雨紛			西神楽瑞穂		
西神居			西神楽中央		
忠和		1	西神楽聖和		
市民委員会構成外			西神楽千代ヶ岡		
計	6	3	永山第一		
			永山第二	3	
			永山第三		
			永山南		
			永山南西		
			計	4	4

合計	R元年	H30年
	10	7

(10) 令和元年 交通死亡事故発生状況一覧表

番号	日時	場所	路線	事故態様	死亡
事故状況					
1	3月17日(日) 8:20ころ	神居町春志内 台場地区市民委員会	国道	軽四貨物:普通乗用(正面衝突) 当事者 妹背牛町A(80歳) 旭川市 B(30歳)	男性A (80歳)
<p>17日午前8時20分ころ、旭川市神居町春志内の国道で、Aさん(80)運転の軽トラックとBさん(30)の普通乗用車が正面衝突し、衝突後に軽トラックが炎上し、運転していたAさんが死亡した。</p> <p>Bさんも頭や腰を打つ大けがを負った。</p> <p>旭川中央署によると、現場は片側1車線の緩いカーブである。</p>					
2	3月20日(水) 9:30ころ	2条11丁目 大成地区市民委員会	市道	軽四乗用:歩行者(歩道上で佇立) 当事者 秋田県由利本庄市 A(男性20歳) 旭川市B(女性89歳)	女性B (89歳)
<p>20日午前9時30分ころ、旭川市2の11の市道(歩道上)で、Bさん(89)が、駐車場から後退してきた軽四乗用車に衝突され、搬送先の病院で死亡した。</p> <p>旭川中央署は自動車運転処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで、軽四乗用を運転していたA容疑者(20歳)を現行犯逮捕した。</p> <p>同署は、後退時歩道上のBさんの発見が遅れたとみて調べている。</p> <p>A容疑者は、旭川の実家に帰省中。</p>					
3	3月29日(金) 14:05ころ	永山町16丁目 永山第2地区市民委員会	国道	普通貨物:軽四乗用(出合い頭) 当事者 旭川市A(男性46歳) 上川郡比布町 B(女性83歳) (B同乗者)上川郡比布町 C(女性88歳)	女性C (88歳)
<p>29日午後2時5分ころ、旭川市永山町16丁目の国道交差点で、Aさん(46)のワゴン車と、Bさん(83)の軽四乗用車が出合い頭に衝突し、軽乗用の助手席に同乗中のCさん(88)が胸などを強く打ち搬送先の病院で死亡が確認された。</p> <p>ワゴン車のAさん、Bさんと軽四乗用の同乗者2人は軽傷。</p> <p>同署によると、現場は信号機のない国道と道道の交差点。ワゴン車側に一時停止標識があった。</p>					
4	4月23日(火) 20:00ころ	永山町15丁目 永山第2地区市民委員会	国道	普通貨物:自転車(追突) 当事者 名寄市A(男性57歳) 旭川市B(男性75歳)	男性B (75歳)
<p>23日午後8時00分ころ、旭川市永山町15丁目の国道で、自転車で車道を走行中のBさん(75)が後方から走行してきたAさん(57)の普通トラックにはねられ、搬送先の病院で死亡が確認された。</p> <p>旭川東署は、自動車運転処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで、Aを現行犯逮捕した。</p> <p>同署によると、現場は片側2車線の直線である。</p>					

番号	日 時	場 所	路線	事 故 態 様	死亡
事 故 状 況					
5	9月11日(水) 10:10ころ	江丹別町清水 江丹別地区市民委員会	道道	軽四乗用：大型ダンプ(正面衝突) 当事者 旭川市A(女性76) 士別市B(男性50)	女性A (76歳)
11日午前10時10分ころ、旭川市江丹別町清水の道道で、Aさん(76)の軽乗用車と、Bさん(50)の大型ダンプが正面衝突。Aさんは旭川市内の病院に搬送されたが死亡が確認された。旭川中央署によると、現場は片側1車線の直線。Bさんにはけがはなかった。					
6	9月21日(土) 8時45ころ	緑が丘東2の1 緑が丘東地区市民委員会	道道	普通乗用：自動二輪車(右折対直進) 当事者 旭川市A(男性54歳) 旭川市B(男性39歳)	男性B (39歳)
21日午前8時45分ころ、旭川市緑が丘2の1の道道交差点で、Aさん(54)の乗用車とBさん(39)のオートバイが衝突、Bさんは頭などを強く打ち、搬送先の病院で死亡が確認された。旭川東署は自動車運転処罰法違反(過失運転致死)の疑いで、乗用車を運転していたAさんを現行犯逮捕した。同署によると現場は片側2車線のT字路交差点。					
7	10月6日(日) 15:25ころ	神居町神居古潭 台場地区市民委員会	国道	普通トラック；自動二輪車(出合い頭) 当事者 旭川市 A(男性33歳) 苫小牧市B(男性56歳)	男性B (56歳)
6日午後3時25分ころ、旭川市神居町神居古潭の国道で、トラックとBさん(56)のオートバイが衝突。Bさんは頭などを強く打ち、搬送先の病院で死亡が確認された。旭川中央署は自動車処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで、トラックを運転していたAさん(33)を現行犯逮捕した。同署によると、現場は国道と市道が交わる信号機のないT字路交差点。A容疑者にけがはなかった。					
8	11月7日(木) 14:30ころ	永山2条19丁目 永山第2地区市民委員会	道道	大型トラック：歩行者(横断中) 当事者 兵庫県南あわじ市 A(男性57歳) 旭川市B(男性85歳)	男性B (85歳)
7日午後2時30分ころ、旭川市永山2の19の道道で道路を横断していたBさんが大型トラックにはねられ、胸などを強く打って死亡した。旭川東署は自動車運転処罰法違反(過失運転致傷)の疑いで、トラックを運転していたA容疑者を現行犯逮捕した。同署によると、現場は下り坂の直線道路。					

番号	日時	場所	路線	事故態様	死亡
9	11月27日(水) 17:15ころ	末広5条4丁目 末広地区市民委員会	道道	普通乗用：歩行者 当事者 旭川市A (女性54歳) 旭川市B (男性84歳)	男性B (84歳)
<p>27日午後5時15分ころ、旭川市末広5の4の道道において、道路上のBさん(84)がAさん(54)運転の普通乗用車にはねられた。その後Bさんは収容先の病院で死亡が確認された。</p> <p>現場は、片側2車線の直線道路で横断歩道や信号機はない。同署は詳しい事故原因を調べている。</p>					
10	11月27日(水) 17:15ころ	末広5条4丁目 末広地区市民委員会	道道	普通乗用：歩行者 当事者 東神楽A (男性54歳) 旭川市B (女性54歳)	女性B (54歳)
<p>27日午後5時15分ころ、旭川市末広5の4の道道において、Bさんが上記(本表番号9)の交通事故を起こし被害男性を救護すべく自転車から降車し路上に出たところ、後続のAさん(54)運転の普通乗用車にはねられた。その後Aさんは直ちに停止することなく一時その場を立ち去りその後現場に戻った。Aさん運転の車にはねられたBさんは間もなく死亡が確認された。</p> <p>旭川中央署は28日、道路交通法(ひき逃げ)と自動車運転処罰法違反(過失運転致死)などの疑いでAを逮捕した。</p> <p>現場は、片側2車線の直線道路で横断歩道や信号機はない。同署は詳しい事故原因を調べている。</p>					

令和元年旭川市内

交通事故死者10人、うち高齢者が7人(70%)



【高齢歩行者被害事故の特徴】

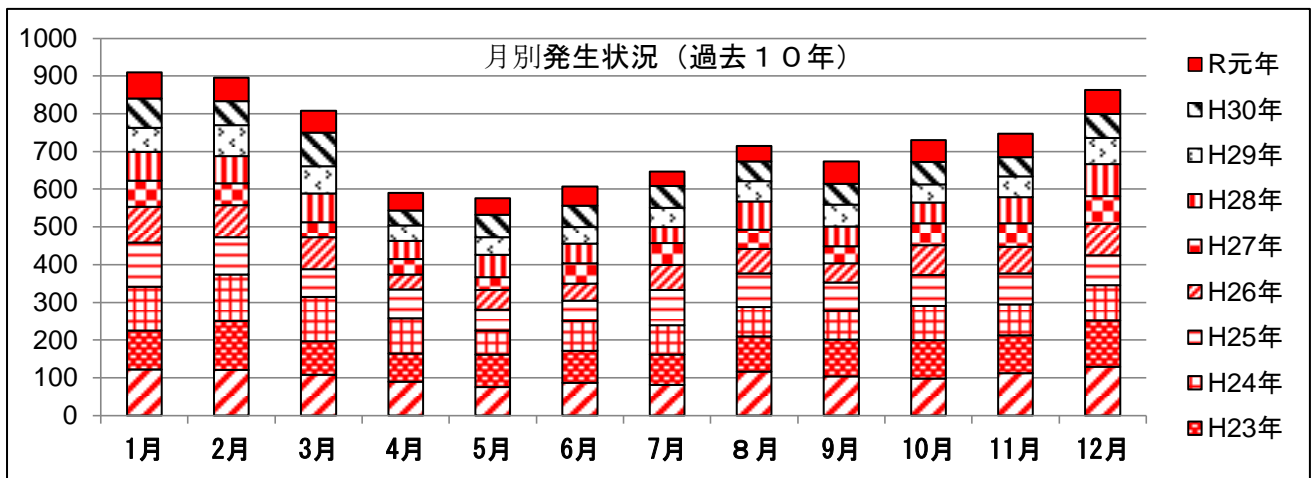
- ★ 夕方から夜間(16時~22時)の発生が多い
- ★ 市街地の交差点・交差点付近での発生が多い
- ★ 75歳以上の方が被害に遭うケースが多い
- ★ 歩き馴れている自宅周辺での被害が多い
- ★ 横断の後半に左から来る車にはねられるケースが多い

Ⅲ 過去10年間の状況

1 月別交通事故発生状況

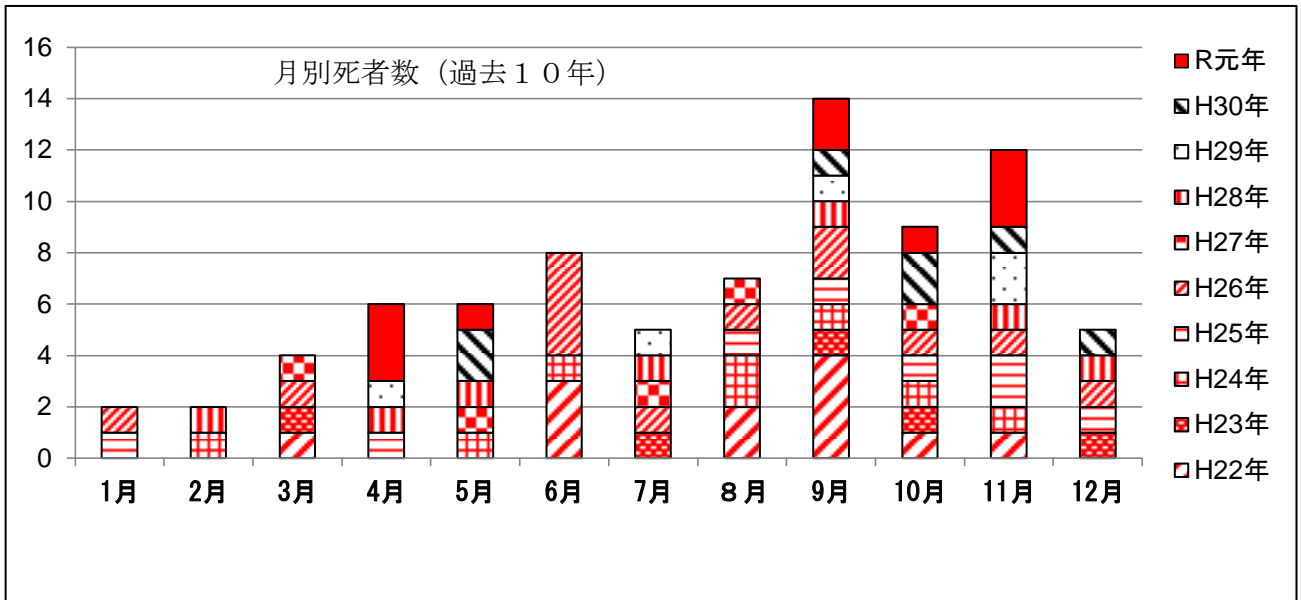
(1) 発生件数

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
1月	122	103	116	118	94	69	77	63	78	70
2月	121	129	124	99	85	57	73	81	64	62
3月	108	89	118	73	84	40	77	71	90	58
4月	89	75	94	76	39	41	49	41	39	47
5月	75	86	64	56	51	35	59	47	59	44
6月	86	85	79	54	46	53	52	44	57	51
7月	81	81	78	92	67	58	42	52	58	37
8月	117	93	78	89	65	51	74	54	53	40
9月	104	97	77	75	50	46	52	58	55	60
10月	98	102	90	82	79	58	55	48	60	58
11月	112	101	81	83	70	63	68	56	51	62
12月	129	123	93	80	83	74	85	68	64	64
計	1,242	1,164	1,092	977	813	645	763	683	728	653



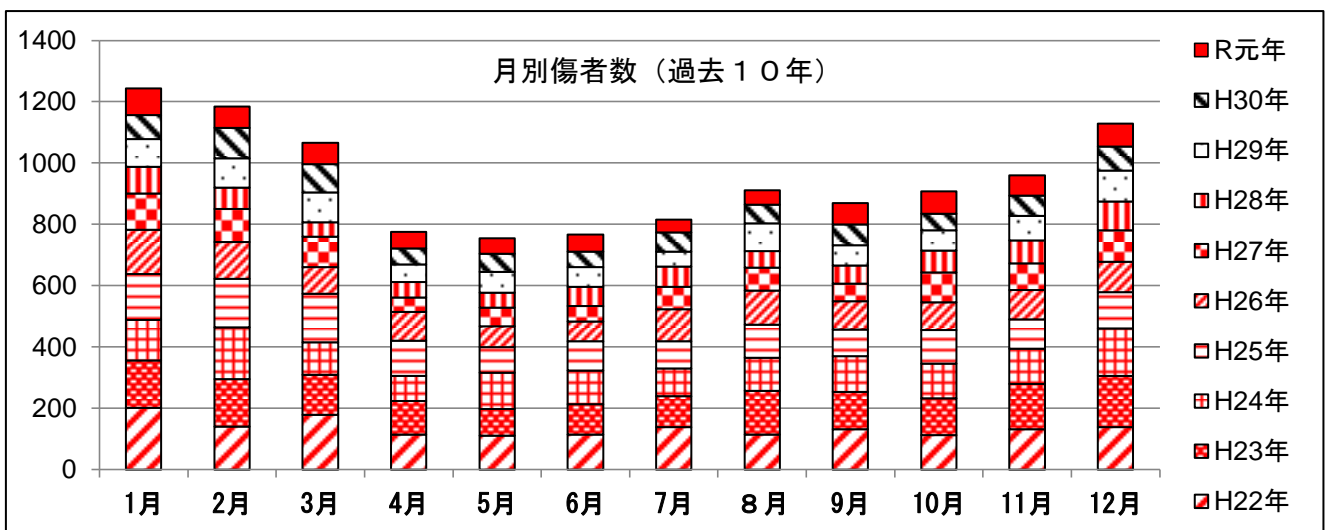
(2) 死者数

	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
1月				1	1					
2月			1				1			
3月	1	1			1	1				3
4月				1			1	1		1
5月			1			1	1		2	
6月	3		1		4					
7月		1			1	1	1	1		
8月	2		2	1	1	1				
9月	4	1	1	1	2		1	1	1	2
10月	1	1	1	1	1	1			2	1
11月	1		1	2	1		1	2	1	3
12月		1		1	1		1		1	
計	12	5	8	8	13	5	7	5	7	10



(3) 傷者数

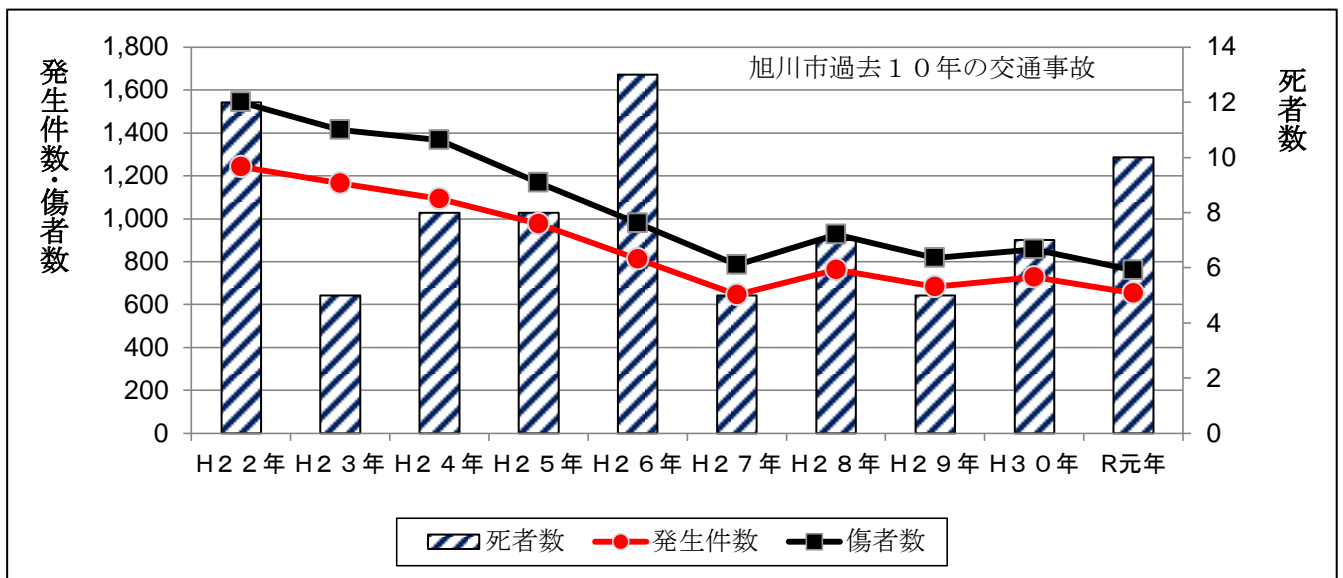
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
1月	155	132	150	144	118	88	91	78	96	86
2月	156	169	158	119	109	69	96	98	81	70
3月	132	105	159	86	100	47	98	91	106	70
4月	110	82	115	93	48	50	57	52	46	54
5月	87	118	83	68	62	48	68	59	70	50
6月	100	110	95	64	50	64	64	50	64	56
7月	101	91	88	105	73	66	49	61	69	43
8月	143	107	108	111	75	54	90	62	66	47
9月	122	116	88	91	58	59	66	68	64	69
10月	121	113	109	91	97	71	67	53	67	74
11月	147	116	95	96	87	74	80	66	55	67
12月	168	155	118	99	102	94	101	79	72	75
計	1,542	1,414	1,366	1,167	979	784	927	817	856	761



2 旭川市・全道・全国の交通事故発生状況

	発生件数			死者数			傷者数		
	旭川市	全道	全国	旭川市	全道	全国	旭川市	全道	全国
H22	1,242	18,088	725,903	12	215	4,922	1,542	22,096	896,294
H23	1,164	16,395	692,056	5	190	4,663	1,414	19,705	854,610
H24	1,092	14,973	665,138	8	200	4,411	1,366	18,048	825,396
H25	977	13,722	629,021	8	184	4,373	1,167	16,247	781,494
H26	813	12,274	573,842	13	169	4,113	979	14,571	711,374
H27	645	11,123	536,899	5	177	4,117	784	13,117	666,023
H28	763	11,329	499,232	7	158	3,904	927	13,489	617,931
H29	683	10,815	472,165	5	148	3,694	817	12,673	580,850
H30	728	9,931	430,601	7	141	3,532	856	11,494	525,846
R元	653	9,595	38,1002	10	152	3,215	761	11,046	460,715

注～全国の数値は速報値であり、変更になる場合があります。



3 都道府県別交通事故死者数のワースト順位

(▼減少)

順位	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年
1	愛知 256 ▼25	愛知 276 20	愛知 235 ▼41	愛知 219 ▼16	愛知 204 ▼15	愛知 213 9	愛知 212 ▼1	愛知 200 ▼12	愛知 189 ▼11	千葉 172 ▼14
2	北海道 215 ▼3	東京 215	千葉 202 ▼1	千葉 201 ▼1	神奈川 185 17	大阪 196 53	千葉 185 5	埼玉 177 26	千葉 186 32	愛知 156 ▼33
3	東京 215 10	埼玉 207 9	北海道 200 10	兵庫 187 8	千葉 182 ▼19	千葉 180 ▼2	大阪 161 ▼35	東京 164 5	埼玉 175 ▼2	北海道 152 11
4	千葉 210 2	千葉 203 ▼7	埼玉 200 ▼7	静岡 184 29	兵庫 182 ▼5	神奈川 178 ▼7	東京 159 ▼2	兵庫 161 9	神奈川 162 13	兵庫 138 ▼14
5	茨城 205 6	兵庫 198 6	東京 183 ▼32	北海道 184 ▼16	埼玉 173 ▼7	北海道 177 8	北海道 158 ▼19	千葉 154 ▼31	兵庫 152 ▼9	東京 133 ▼10

※北海道 190-7位

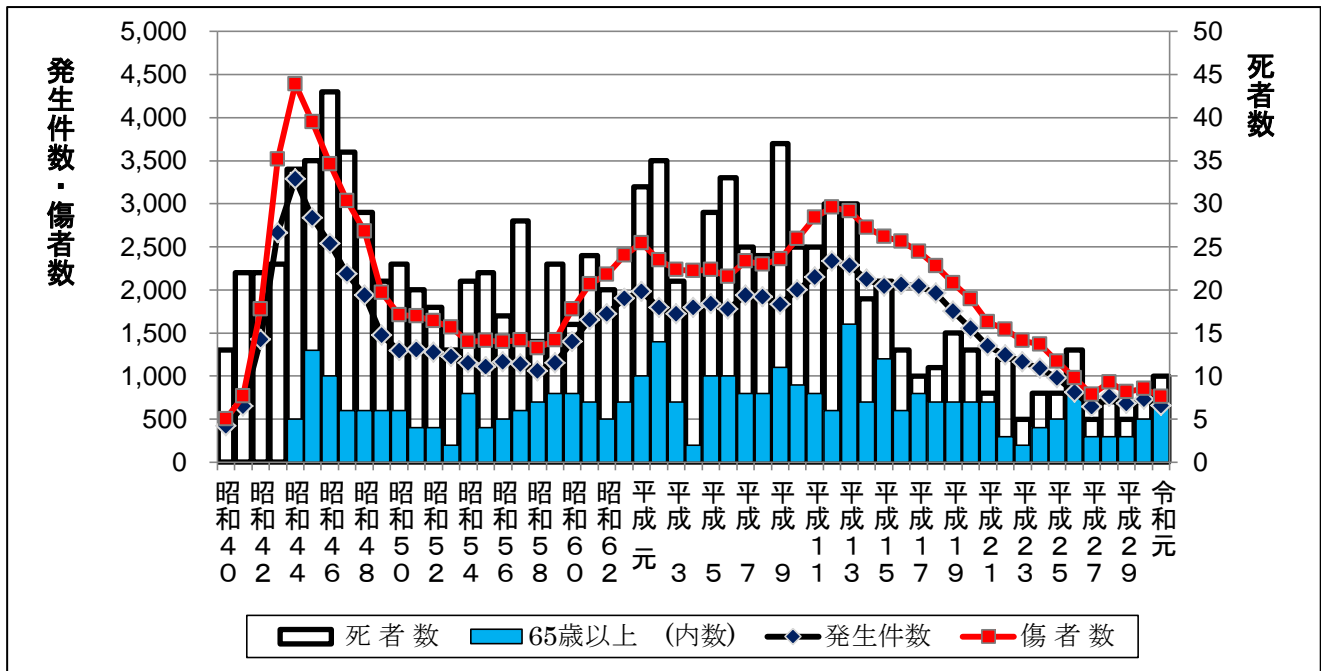
169-7位

148-8位 141-8位

IV 旭川市の交通事故発生件数・死者数・傷者数一覧

年	発生件数	死者数		傷者数	年	発生件数	死者数		傷者数
		65歳以上 (内数)					65歳以上 (内数)		
昭和41	649	22		770	平成5	1,839	29	10	2,234
昭和42	1,425	22		1,778	平成6	1,779	33	10	2,154
昭和43	2,663	23		3,518	平成7	1,936	25	8	2,332
昭和44	3,289	34	5	4,391	平成8	1,920	24	8	2,294
昭和45	2,837	35	13	3,949	平成9	1,829	37	11	2,356
昭和46	2,539	43	10	3,459	平成10	2,000	25	9	2,593
昭和47	2,186	36	6	3,033	平成11	2,150	25	8	2,841
昭和48	1,940	29	6	2,680	平成12	2,333	30	6	2,961
昭和49	1,476	21	6	1,969	平成13	2,284	30	16	2,915
昭和50	1,296	23	6	1,707	平成14	2,123	19	7	2,726
昭和51	1,306	20	4	1,698	平成15	2,041	21	12	2,616
昭和52	1,272	18	4	1,643	平成16	2,060	13	6	2,564
昭和53	1,225	13	2	1,565	平成17	2,043	10	8	2,445
昭和54	1,150	21	8	1,396	平成18	1,962	11	7	2,279
昭和55	1,109	22	4	1,409	平成19	1,749	15	7	2,078
昭和56	1,161	17	5	1,398	平成20	1,554	13	7	1,895
昭和57	1,140	28	6	1,416	平成21	1,350	8	7	1,626
昭和58	1,061	14	7	1,323	平成22	1,242	12	3	1,542
昭和59	1,151	23	8	1,419	平成23	1,164	5	2	1,414
昭和60	1,400	16	8	1,777	平成24	1,092	8	4	1,366
昭和61	1,651	24	7	2,067	平成25	977	8	5	1,167
昭和62	1,720	20	5	2,176	平成26	813	13	8	979
昭和63	1,900	19	7	2,404	平成27	645	5	3	784
平成元年	1,983	32	10	2,545	平成28	763	7	3	927
平成2	1,795	35	14	2,344	平成29	683	5	3	817
平成3	1,719	21	7	2,235	平成30	728	7	5	856
平成4	1,798	18	2	2,224	令和元年	653	10	7	761

※平成14年からは高速道路での事故発生件数数も含む



V 交通死亡事故ゼロ達成日数（令和元年12月31日現在）

市民委員会名	達成日数	備 考	市民委員会名	達成日数	備 考
西	443		旭神	907	
中央	1,766		東光	397	
大成	286	3/20	東光南	2,327	
近文東	2,992		豊岡	1,606	
近文西	4,494		新豊岡	4,520	
川端	8,237	8千日	愛宕	460	
北星	3,476		東豊中央	833	
旭星	1,850		東部東光	2,747	
旭星西	10,228	1万日	千代田	4,918	
春光西	4,402		旭正	1,933	
春光中央	5,714		東旭川中央	3,014	3千日
春光東	2,280		日の出・倉沼	995	
春光台	8,347	8千日	豊田	7,479	
鷹の巣福祉村	2,109		桜岡	5,521	
末広中央	2,024		米飯・瑞穂	15,648	
末広	34	11/27(2件2名)	神楽本町	1,859	
末広東	3,236	3千日	神楽宮前	7,238	7千日
東鷹栖中央	1,336		高野	6,407	
東鷹栖東	768		神楽岡	1,409	
東鷹栖西	14,709		神楽岡東	5,801	
東鷹栖北	18,622		緑が丘	7,423	
江丹別	111	9/11	西御料地	580	
嵐山	2,546		緑が丘東	101	9/21
神居中央	1,353		西神楽瑞穂	6,242	6千日
神居東	3,413		西神楽中央	785	
台場	86	3/17, 10/6	西神楽聖和	1,145	
神居雨紛	6,707		千代ヶ岡	3,348	3千日
西神居	4,003	4千日	永山第一	2,644	
忠和	600		永山第二	54	3/29, 4/23, 11/7
新旭川	453		永山第三	4,422	
朝日	5,862		永山南	5,698	
啓明	1,701		永山南西	2,217	

※備考欄の記述

- ・「〇千日」は、令和元年中に達成した3千日以上記録。
- ・「日付(△/□)」は、交通死亡事故が発生した日。

旭川市の事故ゼロ達成日数

最長記録 **167日**

平成29年11月24日～

平成30年5月9日まで



歩きスマホ 危険といっしょに 歩いてる

一口メモ

用語	説明
交通事故	<p>道路交通法に規定する「道路」で発生した「車輛等」（自動車、原動機付自転車、自転車等の軽車両、トロリーバス、路面電車）の交通による死傷、物の損壊事故をいいます。</p> <p>しかし、この統計書では、物の損壊事故のみで死傷事故とならなかった事故については含まれていません。通常私たちが目にする交通事故統計は、この統計書のように、交通による死傷事故のみを扱っているものがほとんどです。</p>
死傷者	<p>「死傷者」とは、道路交通法で規定される道路上で、車輛等および列車の交通によって発生した事故で死傷した人をいいます。普通は「死者」「重傷者」「軽傷者」に区別されます。</p> <p>この統計書では、例外的に表示する以外は「死者」と、重傷者と軽傷者を合わせた「傷者」で表示しています。</p> <p>「死者」とは、交通事故が発生してから24時間以内に亡くなった人のみをいいます。「30日以内の死者」を計上している統計書もありますが、この統計書では24時間以内に亡くなった人のみを表しています。</p>
第一当事者	<p>交通事故に関わった全ての当事者の過失を調べ、基本的には、それらの過失が重い順に当事者順位が定められます。</p> <p>第一当事者は、犯した過失が他の当事者よりも相対的に重いと判断された当事者です。当事者の過失が同程度と判断された時は、人身損傷の軽い順に当事者の順位が定められ、人身損傷が最も軽い当事者が第一当事者となります。</p> <p>車輛の単独事故では、常にドライバーが第一当事者になります。また、歩行者に明らかで重大な過失がある場合には、歩行者が第一当事者となります。</p>
軽車両 (自転車も車の仲間です)	<p>交通事故統計では、車両等(列車を含む)の運転者が当事者であるときは、運転中の「車両等」の種類をもって当事者とします。その種別は、「乗用車」「貨物車」「二輪車」「歩行者」などの11に区分されています。その1つが「軽車両」です。</p> <p>この「軽車両」も、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自転車 ②駆動補助機付自転車 ③その他軽車両～リヤカー、荷車、牛車・馬車、馬・牛、犬ぞりなどの3種に区分されています。

【令和2年期別運動】

年間スローガン

ストップ・ザ・交通事故 ～ めざせ 安全で安心な北海道 ～

運動名	実施期間	期別運動の視点	セーフティコール
春の全国交通安全運動	4/6(月)～4/15(水)	○新入学(新学期)を迎える子供や活動期に入る自転車利用者の事故防止	4/6(月)
夏の交通安全運動	7/13(月)～7/22(水)	○観光・夏型レジャー等に伴う事故防止 バイクの事故防止と飲酒運転の根絶	7/13(月)
秋の全国交通安全運動	9/21(月)～9/30(水)	○夕暮れ時と夜間の高齢歩行者・自転車の事故防止	9/18(金)
冬の交通安全運動	11/13(金)～11/22(日)	○凍結路面でのスリップ事故防止	11/13(金)



令和元年交通事故統計

交通安全は家庭から

令和2年3月発行

旭川市交通安全運動推進委員会

会長 西川将人

旭川市6条通10丁目 旭川市第三庁舎1階
旭川市防災安全部 交通防犯課内